

# 新型コロナウイルス感染症等 避難所対応マニュアル

令和2年9月

かほく市

## 目次

---

はじめに	1
------	---

### I 避難所開設前

(1) 可能な限り多くの避難所の確保・開設	2
(2) 住民への周知	2
(3) 感染症対策に必要な物資・資材の備蓄	3
(4) 避難所のレイアウトの検討	4
(5) 避難者の健康管理体制の検討	5

### II 避難所開設・運営時

(1) 避難所の設営	6
(2) 避難者の健康状態の確認	6
(3) 運営時の留意点	7

### 参考資料

別紙1 避難所における新型コロナウイルス感染症への 対応チェックリスト	9
別紙2 新型コロナウイルス感染症対応時の避難所 レイアウト(例)	10
別紙3 感染症対策に必要な物資・資材チェックリスト	11
別紙4 問診票	12

## はじめに

---

災害が発生し、または災害が発生するおそれがある場合、自分の身を守るために危険な場所にいる人は、躊躇することなく避難するなど最善の行動をとる必要があります。

新型コロナウイルス感染症への警戒が続く中においては、避難所における感染の拡大やクラスター化を防止するため、避難所に人が集中することを避けることが必要です。

本市では、避難所への避難だけではなく、在宅での避難や友人や知人宅への避難など、安全な場所へ避難する「分散避難」の考え方や備えを住民に対し周知するとともに、災害時には指定避難所のほか、必要に応じ、付近の公共施設を避難所として開設し、避難者の分散を図るほか、民間の宿泊施設の活用についても検討するなど柔軟に対応することとします。

また、避難所を開設する際には、密閉、密集及び密接のいわゆる「3密」を避けることを基本として、初動対応、配置計画、運営等を行うこととし、避難者自身に手洗いや咳エチケットなど感染予防対策を促し、避難所における感染症対策を行うこととします。

なお、このマニュアルについては、感染症予防や感染拡大の防止のために必要となる対策についてとりまとめたもので、避難所運営の中心となる自主防災組織、町会区、防災士、関係機関等と協議し、適宜見直しを行うこととします。

令和2年9月 かほく市

# I 避難所開設前

避難所における新型コロナウイルスなどの感染症の発生・まん延を想定し、避難所が過密になることを避けるための「分散避難」などの必要な対策を以下のとおり検討しておく。

## (1) 可能な限り多くの避難所の確保・開設

- ①避難所の収容人数を考慮し、あらかじめ指定した拠点避難所以外の避難所の開設を検討する。
- ②公民館等の公共施設の活用を十分に検討した上で、なお不足が予想される場合は、ホテル・旅館等の活用を検討する。

※ホテル・旅館等を活用する場合の運営体制については、あらかじめ検討しておく。

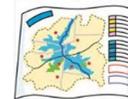
(国通知の留意点)

【可能な限り多くの避難所の開設】

・発災した災害や被災者の状況等によっては、避難所の収容人数を考慮し、**あらかじめ指定した指定避難所以外の避難所を開設する**など、通常の災害発生時よりも可能な限り多くの避難所の開設を図るとともに、**ホテルや旅館等の活用等も検討すること**。

- ☞ 検討にあたっては、施設管理者のほか、地域の自主防災組織や町内会と連携し必要な協議を行う。

ハザードマップ



## (2) 住民への周知

### ①地域の災害リスクの確認

- ・ハザードマップを活用し、平時から地域の災害リスクを確認しておくよう周知する。

### ②分散避難の周知

- ・避難所が過密状態になることを防ぐため、安全が確保できる場合は、避難所以外への避難（分散避難）を検討するよう住民に周知する。
  - 県や市を越えての広域避難
  - 親戚や知人宅への避難
  - 安全が確保された自宅での在宅避難
  - 安全な場所に停めた車への避難

### ③事前準備について周知

- ・自宅の耐震化を実施し、生活に必要な物資を備蓄するなど、在宅避難できるように準備する。
- ・大雨の際に予想される自宅等の状況をハザードマップで事前に確認し、自宅の2階へ避難する垂直避難を検討する。
- ・親戚や知人宅への避難を検討し、日頃から相談しておく
- ・車中泊について検討し、安全な広場等をあらかじめ見つけておく。

#### ④必要な物資等を自ら持参



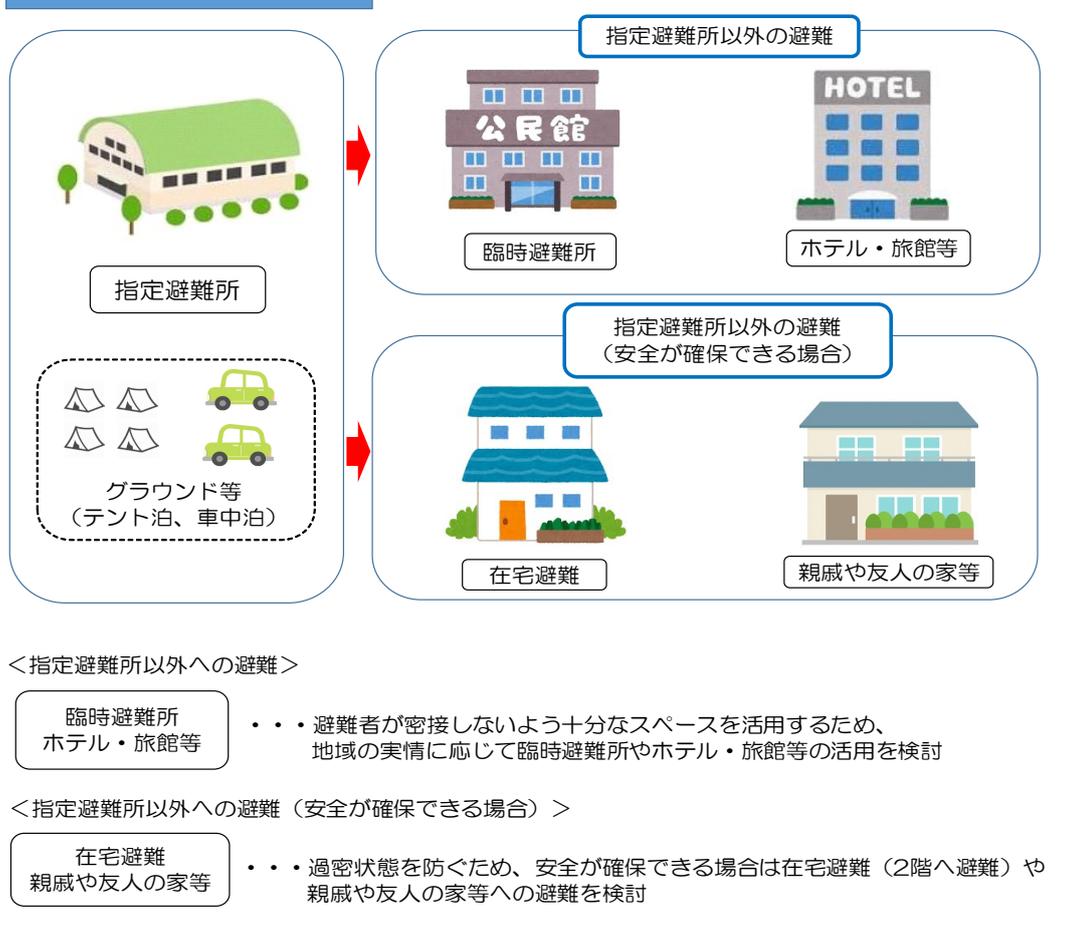
- ・避難後の感染を予防するため、食料・水などの通常の持ち出し品に加え、マスク、消毒液、体温計等の衛生品も備え、持参するよう周知する。

(国通知の留意点)

#### 【親戚や友人の家等への避難の検討】

- ・災害時に避難生活が必要な方に対しては、避難所が過密状態になることを防ぐため、**可能な場合は親戚や友人の家等への避難を検討していただくことを周知**すること。

#### 【分散避難】のイメージ



#### (3) 感染症対策に必要な物資・資材の備蓄



- ・避難所において、感染症対策に有効と考えられる以下の物資・資材を備蓄する。

(避難者用)

マスク、非接触型体温計、アルコール消毒液、ウェットティッシュ、

ペーパータオル、石鹸 等  
(スタッフ用)  
マスク、使い捨て手袋、フェイスシールド(ゴーグル)、防護服 等  
(その他資材)  
パーティション(間仕切り)、ビニールシート、仮設トイレ、養生  
テープ 等

- ☞ 避難所における感染症対策に有効な物資等について、備蓄品目・備蓄量・保管場所などに関する情報(備蓄品リストなど)を、事前に把握し避難所担当職員と情報を共有化しておく。

#### (4) 避難所のレイアウトの検討



##### ①検温・問診を行う「事前受付」の設置

・避難者の健康状態を確認するため、避難所入口の外に「事前受付」を設置し、非接触型の体温計での検温、問診票を準備し、発熱や咳などの症状の有無について確認する。

※自宅療養等を行っている新型コロナウイルス感染症の軽症者等の避難にも留意する。

##### ②避難者の健康状態等を踏まえてゾーニング・動線分けをした上での十分なスペースの確保

###### 【事前受付で健康な避難者と認められた場合】

→一般避難スペースへ誘導。

・一般避難者用スペースでは、避難者間の距離を十分に確保する。

※個人または家族ごとに2 m以上を保つこととし、施設管理者と協議し、体育館のみではなく教室も避難スペースとして活用する。

避難者1人当たりの面積を3 m<sup>2</sup>(2 m×1.5 m)とする。

・通路の間隔は2 m程度とれるよう養生テープ等を使い確保し、右側通行とする。また可能であれば一方通行についても検討する。

###### 【事前受付で何らかの症状が認められた、または濃厚接触者の場合】

→専用避難スペースへ誘導。

・発熱・咳等の症状のある者、濃厚接触者は極力個室にするとともに、専用のトイレを確保し、一般避難者との動線を分けるものとする。

・やむを得ず同じ症状のある人々を同室とする場合には、パーティション(間仕切り)で区切るなどの工夫をすることが望ましい。

・学校等の指定避難所では、教室等を活用した発熱・咳等の症状のある者の専用スペースの設置を検討する。

### (濃厚接触者用)

- ・可能な限り個室管理とする。困難な場合は、テントなどで各々の専用のスペースを確保する。

※濃厚接触者は、発熱者等より優先して個室にて管理する。

(国通知の留意点)

#### 【発熱・咳等の症状が出た者のための専用のスペースの確保】

- ・発熱、咳等の症状が出た者は、専用のスペースを確保すること。その際、スペースは可能な限り個室にするとともに、専用のトイレを確保することが望ましい。
- ・同じ兆候・症状のある人々を同室にすることについては、新型コロナウイルス感染症を想定した場合には、望ましくない。やむを得ず同室にする場合は、パーティションで区切るなどの工夫をすることが望ましい。
- ・症状が出た者の専用のスペースやトイレは、一般の避難者とはゾーン、動線を分けること。
- ・避難所のスペースの利用方法等について、事前に関係部局や施設管理者等と調整を図ること。

### ③避難者向け案内表示の設置

- ・避難所内の感染予防・生活ルールの注意事項をまとめた案内表示（ポスターなど）を施設内複数個所に設置することを検討する。

☞ 「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」（平成 25 年 8 月（平成 28 年 4 月改定）内閣府（防災担当））において、「感染症を発症した避難者の専用のスペースないし個室を確保することが適切であること」と記載しており、また、「避難所運営ガイドライン」（平成 28 年 4 月 内閣府（防災担当））において、「感染症患者が出た時の部屋を確保する」と記載しているが、新型コロナウイルス感染症の場合は、軽症者等であっても原則として一般の避難所に滞在することは適当でないことに留意すること。



## (5) 避難者の健康管理体制の検討

- ①避難者の健康管理について、健康福祉課や医療関係者等との間で適切な対応を事前に検討する。

※新型コロナウイルス感染症の感染の疑いがある者への対応

※保健師等の巡回体制及び連絡体制の検討 など

- ②新型コロナウイルス感染症を発症した場合の対応については、健康福祉課と十分に連携の上で、適切な対応を事前に検討する。

(国通知の留意点)

#### 【避難者の健康状態の確認】

- ・避難者の健康状態の確認について、保健福祉部局と適切な対応を事前に検討の上、「避難所における感染対策マニュアル」における症候群サーベイランスの内容も参考として、避難所への到着時に行うことが望ましい。
- ・また、避難生活開始後も、定期的に健康状態について確認すること。

## Ⅱ 避難所開設・運営時

事前に検討した、避難所における新型コロナウイルス感染症等対策を、避難者と運営者が互いに協力しあいながら実施しましょう。

### (1) 避難所の設営

#### ①事前に検討したレイアウトに基づき設営

- ・避難所入口の外に非接触型体温計による検温、問診等を行うための「事前受付」を設置し、「避難者カード」を記入していただく。
- ・健康な避難者用スペース、発熱・咳等の症状のある者の専用スペース、濃厚接触者用の専用スペースを設置する。
- ・発熱・咳等の症状のある者の専用スペース、濃厚接触者用の専用スペースは、個室が望ましいが、部屋を分けられないときはパーティション（間仕切り）や簡易テントを活用する。
- ・健康な避難者用スペース、発熱・咳等の症状のある者の専用スペース、濃厚接触者用の専用スペースは、トイレや洗面所、ごみ置き場等も含め分離する。
- ・入口（事前受付）から健康な避難者用スペース、発熱・咳等の症状のある者の専用スペース、濃厚接触者用の専用スペースのそれぞれの動線を確保する。

### (2) 避難者の健康状態の確認

#### ①入所時の検温・問診

- ・避難者が避難所に到着した時点で検温・問診を実施する。
- ・問診等の結果により、健康な避難者用スペース、発熱・咳等の症状のある者の専用スペース又は濃厚接触者用の専用スペースへ誘導する。



#### ②日々の健康確認



- ・避難者に「健康チェック表」を配布し、毎日の体温と体調を確認する。
- ・車中泊やテント泊等の避難者についても、毎日健康状態を確認する。
- ・避難所運営にかかわる職員の健康状態の把握も行う。

☞ 健康状態の確認については、「新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安（厚生労働省 HP）」も参考にする。

#### ③発熱・咳等の症状のある者等への対応

- ・健康状態の確認の結果、発熱・咳等の症状のある者や感染の疑いがある者が出た場合は、一時的に発熱・咳等の症状のある者等の専用スペース

で隔離し、症状等を保健所や医師に連絡・相談し、必要に応じて診察を受けさせる。

- ・発熱・咳等の症状のある者等の専用スペースには、清掃の実施、食事の供給等を行うための専任のスタッフを配置する。
- ・当該スタッフには手袋・ガウン等の防護具を着用させる。



☞ 発熱等の症状が出た者への対応については、保健衛生担当者と連携し、必要な措置を講じる。

### (3) 運営時の留意点

#### ①基本的な感染症対策の徹底

- ・頻繁に手洗いするとともに、咳エチケット等の基本的な感染症対策を徹底する。

※夏期の気温・湿度が高い中でマスクを着用すると、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるので十分注意する。

#### ②十分な換気の実施

- ・場所や季節などを考慮しながら、1時間に1回5分間の避難所内の換気を定期的に行う。  
風通しが悪い場所については大型扇風機を用いて換気を行う。



#### ③避難所の良好な衛生状態の確保

- ・物品・トイレ、ドアノブ等は定期的に清掃や消毒を行う。  
(目に見える汚れがある時は、家庭用洗剤を用いる。)  
作業の際には、手袋を着用するなど感染予防に努める。
- ・トイレにはトイレ専用のスリッパを準備する。

#### ④食事時間の管理

- ・避難者の食事時間をずらすなど、避難者が一度に一箇所に集まり、密集状態にならない運営を行う。

#### ⑤健康管理

- ・避難者自身が毎日検温を行い、体調管理を行う。  
保健師が避難所へ定期的に巡回し、避難者の健康相談や感染予防のための健康管理体制の確立を図る。車中泊や屋外でのテント泊の避難者についても、健康状態の確認を行う。

#### ⑥体調不良者への対応

- ・体調不良者については、医療従事者や保健師等が面談を行い、一般避難スペースから専用避難スペースに誘導するとともに、保健所に連絡し検

査等を手配する。

- ・新型コロナウイルスの感染が確認された場合は、速やかに保健所に連絡し宿泊医療施設等に移送する。

#### ⑦感染者が確認された場合

- ・保健所等の指示に従い、移送（又は隔離）、消毒等を実施する。

#### ⑧廃棄物の管理

- ・ごみは世帯ごとで密閉して捨てる。
- ・ごみ箱には、極力ふたをつけることとする。
- ・マスクや手袋などは個別に密閉して捨てる。

#### ⑨避難所運営スタッフの感染予防

避難所を運営するスタッフは、衛生用品の使用方法を守り、適切に取り扱うことで感染症の予防に努める。

また、感染症予防エリアのスタッフについては、可能な限り専任とする。

なお、衛生用品については取り外す際、感染リスクが高まることに十分留意する。

<衛生用品>

- ・フェイスシールド
- ・マスク
- ・防護服
- ・使い捨て手袋

# 避難所における新型コロナウイルス感染症への対応チェックリスト

## 1 避難所の確保・開設

- 指定避難所以外の避難所の開設を検討している。
- 公共施設等の活用スペースの見直しを行っている。

## 2 避難行動等の住民へ周知

- 適切な避難行動（ハザードマップ活用）の周知を図っている。
- 避難所以外への避難の検討について周知を図っている。
- 必要な物資等を避難所に持参するよう呼びかけている。

## 3 避難所開設の事前準備

- 感染症対策に必要な物資等の準備を行っている。
- 避難所入り口に事前受付（各スペースへの誘導）を検討している。
- 避難所で十分なスペースが確保できるよう検討を行っている。
- 発熱・咳等の症状のある者への対応（専用スペース・トイレの確保、健康な避難者とのゾーン・動線分け、パーティション（間仕切り）活用）を検討している。
- 濃厚接触者への対応（個室管理）を検討している。
- 避難所内の感染予防等に係る周知啓発の実施を検討している。
- 管轄保健所や医療関係者等と相談・連携体制を構築している。
- 地域住民や施設管理者等との合同訓練（感染症対策を想定した避難所開設・運営の確認 等）を検討している。

## 4 避難所における感染症対策

- 事前に検討した避難所のレイアウト（検温・問診等を行う事前受付の設置、十分なスペースの確保 等）に基づき設営する。
- 避難者（車中泊やテント泊を含む）の健康状態を毎日確認する。
- 発熱・咳等の症状ある者等への対応として、清掃等の専用スタッフを配置している。
- 避難所内では咳エチケット等の基本的な感染症対策を徹底する。
- 避難所内の定期的な換気、物品等の定期的な清掃や消毒を行う。
- 感染者が発見された際の保健所等との連絡体制の構築を図っている。



## 感染症対策に必要な物資・資材チェックリスト

	品目		個数	備考
避難者用	マスク	<input type="checkbox"/>	枚	
	非接触型体温計	<input type="checkbox"/>	個	
	アルコール消毒液	<input type="checkbox"/>	個	
	ウェットティッシュ	<input type="checkbox"/>	個	
	ペーパータオル	<input type="checkbox"/>	個	
	その他	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>		
スタッフ用	マスク	<input type="checkbox"/>	枚	
	使い捨て手袋	<input type="checkbox"/>	枚	
	フェイスシールド（ゴーグル）	<input type="checkbox"/>	個	
	防護服	<input type="checkbox"/>	着	
	その他	<input type="checkbox"/>		
その他資材等	パーティション（間仕切り）	<input type="checkbox"/>	個	
	ビニールシート	<input type="checkbox"/>	枚	
	養生テープ	<input type="checkbox"/>	個	
	問診票	<input type="checkbox"/>	枚	
	その他	<input type="checkbox"/>		
	案内表示（ポスター等）	<input type="checkbox"/>	個	・手洗い、咳エチケット、消毒などの感染予防対策 ・ゴミの取り扱い ・申し出る必要がある症状を列記したもの 等
		<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>		

## 問 診 票

受付番号 \_\_\_\_\_

記入日時 令和 年 月 日 時 分 体 温 \_\_\_\_\_ 度

氏 名 \_\_\_\_\_ 年 齡 ( \_\_\_\_\_ 歳) 性 別 (男・女)

連絡先 (携帯) \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ 車両ナンバー \_\_\_\_\_

あてはまるものの数字に○をつけてください。

### <現状>

- 1 妊娠している
- 2 通院している (通院理由: \_\_\_\_\_)
- 3 日常的に薬を服用 (薬名: \_\_\_\_\_) ※薬手帳がある場合提示
- 4 該当なし

### <濃厚接触の有無等>

- 1 新型コロナウイルス患者との接触があった  
最終接触時期 令和 年 月 日 頃
- 2 感染が確認されて自宅療養中だった  
療養開始時期 令和 年 月 日 頃

### <症状>

- 1 熱がある ( \_\_\_\_\_ 日前から \_\_\_\_\_ 度程度)
- 2 風邪のような症状などがある  
(該当するものに○: 咳、鼻汁、頭痛、のどの痛み、その他 \_\_\_\_\_ )
- 3 息苦しさがあある
- 4 強いだるさがある
- 5 味覚、嗅覚に異常を感じる ( \_\_\_\_\_ 日前から)
- 6 寒気、関節痛・筋肉痛などがある
- 7 咳があり、血がまざった痰がでる
- 8 からだにぶつぶつ (発疹) が出ている <口かゆみや痛みがある>
- 9 唇や口の周りにぶつぶつ (発疹) が出ていて、痛みがある
- 10 下痢便 (水のような便、柔らかい便、形のない便、噴出すような便等) が出た
- 11 吐いた、または吐き気がする
- 12 おなかが痛く、便に血がまざっている
- 13 目が赤く、目やにが出ている
- 14 その他 ( \_\_\_\_\_ )
- 15 該当なし